

見本のため、実際の評価とは異なります。 総合計画 施策評価シート(平成〇年度)

2-⑪

施策

「めざすまちの姿」を実現するために実施する、市の施策名を記載しています。

魅力的で、風格ある景観の形成を推進する

施策番号を記載しています。

担当部局

評価を担当した部局を記載しています。

建設局, 教育委員会

第六次総合計画においては、重要なまちづくりの課題を、「めざすまちの姿」と表現しています。市民ニーズに基づいた重要なまちづくりの課題であり、市民、市民活動団体、事業者等、行政などの各主体共通の目標となるものです。

【快適】

めざすまちの姿

美観地区などの歴史的な景観が保全されるとともに、まち全体としても魅力的な景観を有している

市の基本方針

「めざすまちの姿」を実現するにあたって、市が行う取り組みの基本的な方針(10年間の方向性)を記載しています。

- 本市の良好な景観の形成にあたっては、地形的条件や地域性など、景観を構成するさまざまな要素から「自然的景観」、「歴史・文化的景観」、「市街地景観」などに区分した類型別の方針や、地形や土地利用のまとまり、景観資源の特徴等、地域の成り立ちの経緯を踏まえ、それぞれの特性を生かした地域別の方針に基づいた取り組みを推進します。
- これまで本市が培ってきた独自の景観保全の取り組みが、より実効性のあるものとなるよう、強化するとともにその充実を図ります。
- 景観づくりに関する市民や事業者の意識向上や景観づくりへの参加意識の醸成を図るとともに、市民団体の育成やその活動を支援します。
- 歴史ある町並みを保存するため、伝統的建造物群保存地区などの建物の保存や修理などへの支援を続けるとともに、町全体ににぎわいを取り

「めざすまちの姿」の達成状況を測る“ものさし”とするため設定した指標です。毎年実績値を把握し、達成度を評価していきます。

数値目標

| まちづくり指標   | 目指す方向性 | 算出方法  |
|---|--------|---|
| 倉敷の景観で改善した方がよいところがあると思っている人の割合  | ↓      | 市民アンケート調査で「市内の景観で改善した方がよいところがあると思いますか。」という設問に対して、『思う』と回答した人の割合。<br>※H21(基準値)の設問は「倉敷の景観で改善した方がよいところがあると思いますか。」 |
| <p>計画策定時から5年後、10年後に実現可能な範囲でめざすべき目標として設定した目標値です。</p> <p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、12.4ポイント下がり、前年度に比べ、29.6ポイント下がった。H27目標値を、5.8ポイント下回った。<br/>【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P58】</p> <p>(Ⅱ) 「思う」と回答した人の割合について、地域別では、船穂(5.9%)、庄(8.3%)では低く、逆に水島(26.2%)、倉敷(24.8%)では高かった。「思う」と回答した人の割合は、年齢別・地域別全ての集計において目標値の28.0%を達成することができた。</p> <p>(Ⅲ) 町並み保存指標の算出方法(定義づけ)を記載しています。</p> |        |   |

| まちづくり指標   | 目指す方向性 | 算出方法  |
|---|--------|---|
| 歴史的な景観が保全されていると感じている人の割合  | ↑      | 市民アンケート調査で「市内では、歴史的な景観が保全されていると感じていますか。」という設問に対して、『感じている』と回答した人の割合。 |
| <p>動向(Ⅰ)/内訳(Ⅱ)/分析(Ⅲ)</p> <p>(Ⅰ) 指標値の動きを記載しています。まちづくり指標アンケート調査により実績値を把握する指標については、アンケート調査結果報告書の該当ページを記載しています。</p> <p>(Ⅱ) アンケート結果(回答内訳、年代別、地域別等)や統計数値の内訳等実績値について分かることを記載しています。</p> <p>(Ⅲ) 指標の動き・傾向、その原因、H27目標値に対する現状などについて分析しています。</p> <p>(Ⅰ) 実績値は、基準年に比べ、2.5ポイント上がり、前年度に比べ、4.8ポイント上がった。H27目標値を、5.7ポイント下回った。<br/>【「まちづくり指標」アンケート調査結果報告書P59】</p> <p>(Ⅱ) 町並み保存地区のある児島・玉島地域では、「感じている」と回答した人の割合が、倉敷地域に比べ低くなっている。H21(基準値)以降、指標値は横ばいで推移しており、H27目標値を下回っている。</p> <p>(Ⅲ) 児島・玉島地域と倉敷地域の地域差については、児島・玉島地域の町並み保存地区の修理件数が倉敷地域に比べて少ないことが影響しているのではないかとと思われる。</p> |        |   |

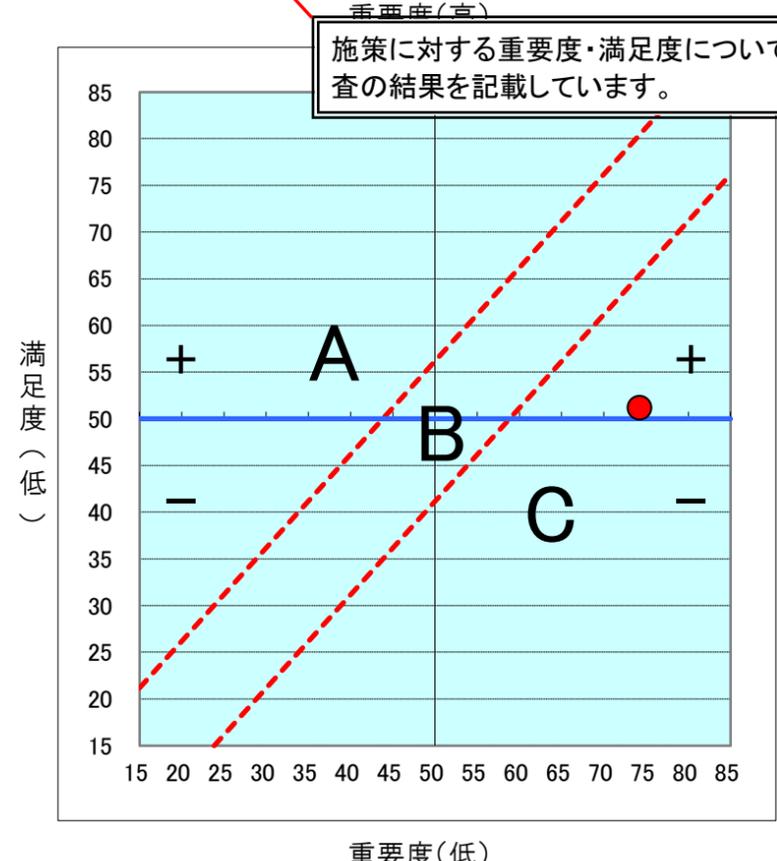
| 施策を推進する主な事業の評価 |                                  |   |             |
|----------------|----------------------------------|---|-------------|
| 区分             | 事業名                              | 目的(Ⅰ)／平成28年度の主な実績(Ⅱ)／今後の方向性(Ⅲ)  | H〇年度決算額(千円) |
| 都              | 旧街道景観整備事業                        | (Ⅰ) 歴史的な町並み景観の保存のため、建物の修理、修景が、景観に配慮されることを目的として実施した。<br>(Ⅱ) 伝統美観保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる1件の外構修景に対し補   | 462         |
| 公              | 伝統的建造物群保存地区・伝統美観地区修景・町並み保存事業(再掲) | 地区内の町並みを保存することを目的に実施した。保存するため、伝統的な様式で行われる12件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。伝統美観保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる1件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。玉島町並み保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる2件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。<br>(Ⅲ) 継続して実施する。   | 67,024      |
|                | 伝統的建造物群保存事業                      | (Ⅰ) 伝統的建造物群保存地区の町並みを保存することを目的に実施した。<br>(Ⅱ) 伝統的建造物群保存地区の町並みを保存するため、伝統的な様式で行われる12件の建物外観の修理、修景に対し補助金を交付した。<br>(Ⅲ) 継続して実施する。  | 56,848      |
| 重<br>公<br>創    | まちづくり基金事業(再掲)                    | (Ⅰ) 「地域の歴史と文化を継承する貴重な町並みを守るとともに、地域の魅力向上、賑わいの創出等のまちづくり活動を支援する」ため、平成25年度に倉敷市まちづくり基金を創出した。<br>(Ⅱ) 町並み保全・創出支援では、倉敷美観地区及び周辺エリアにおいて、町家・古民家再生整備支援を6件行い、修景修理に加え、町家再生による市外等からの転入や、倉敷の特産を復活させた倉敷薄荷を活用した商品を取り扱う新魅力集客拠点を創出した。さらに、まちづくり事業支援では、町家・古民家を拠点として取り組まれた3件(児島、玉島、水島各1件)のまちづくり活動の支援を行った。これらのハード及びソフト支援によって、事業全体として町家・古民家の再生活用促進と県外等からの移住者増に寄与している。<br>(Ⅲ) 年3回、基金活用希望事業の審査会を開催し、市内全域でのまちづくり活動の支援を行う(年10事業以上の支援を目標とする)。制度の周知を図るため市民に対する出前講座を積極的に開催していく。 | 40,820      |

市民の重要度・満足度【H〇実施 有効回答者数=〇人】

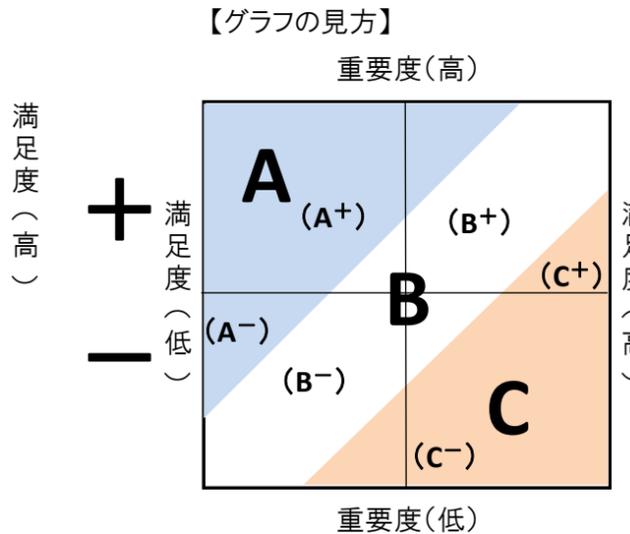
※施策の重要度と満足度について、それぞれ5段階で評価してもらったアンケート調査。

| 領域 | 偏差値   |       |
|----|-------|-------|
|    | 重要度   | 満足度   |
| C+ | 51.16 | 74.24 |

●重要度に見合う以上の満足度が得られている(C)  
●重要度が平均値より高い(+)



施策に対する重要度・満足度についてのアンケート調査の結果を記載しています。



【グラフの見方】

A:重要度に見合った満足度が得られていない領域  
B:重要度に見合った満足度が得られている領域  
C:重要度に見合う以上の満足度が得られている領域

※ 以上の3つの領域を、さらに2つに分割(3×2領域)  
+:重要度が平均値より高い部分  
-:重要度が平均値より低い部分

A+, A-, B+, B-, C+, C-

A+:重要度が高く、その重要度に見合った満足度が得られていない領域

課題 ← 施策に係る現在の課題を記載しています。

●景観保全の重要性についてさらに地域住民に広く周知するとともに、費用負担等、建物の所有者の理解を得ることが必要である。

今後の取組み方針 ← 課題を踏まえた今後の取組み方針を記載しています。

●先人たちの努力によって守られてきた建造物や町並みなどの歴史的文化的景観保全重要性の啓発に努めるとともに、補助制度の活用などにより地区の特性を活かした歴史的景観の維持向上に努める。  
●歴史的文化的景観保全の取組を全市的な取組へと継承し、市民・NPO・事業者とともに倉敷らしい都市景観の形成を推進する。